

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は 2025WA 規則ならびに 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習会場等について

練習は指定された練習場で係員の指示により行う。(マスターズ大会と同時開催の為安全に留意する)

(1) 本競技場での練習は下記の通りとする。

【5/30(土)】 一般利用 9:00~12:00/専用利用 12:30~18:00

※うち 15:30~16:30 は競技の為使用不可

【6/1(日)】 7:30~8:40 まで

(2) 投てき練習は、投てき物を持たない助走・ターン練習のみ可とする。

(3) 事故防止には十分注意すること。

3 招集について

(1) 競技場正面エントランスロビーに招集所を設ける。

(2) 種目別招集開始・完了時刻は、競技順序に記載した通りとする。

(3) 招集の方法

① 競技者は招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・ユニフォーム、競技用スパイク及びシャツ・バック等の商標について点検を受ける。

② 競技者は競技役員の指示に従って、入退場をする。

③ 代理人による最終点呼は認めない。2 種目同時に出場する競技者は、招集時に申し出ること。なお、当該競技者でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後ただちにフィールド種目の競技場へ移動し、担当役員に申し出る。フィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前にその旨を申し出ること。

④ 招集完了時刻に遅れた競技者は当該種目を棄権したものとする。

⑤ リレーに出場するチームは所定の「リレーオーダー用紙」(招集所にて配布)に記入し、招集完了時刻の 1 時間前までに招集所：競技者係に提出すること。

4 アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスの配布は、大会当日の競技者受付で配布する。

(2) アスリートビブスは主催者が用意したものを、そのままの大きさを胸・背部に固定すること。ただし、跳躍種目の競技者については、どちらか一方でよい。

(3) トラック競技の競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識を競技者係より受け取り、パンツの右やや後方に取り付ける。

5 ユニフォームおよび携行品の商標について

日本陸上競技連盟制定の「競技会における広告および展示物に関する規程」に従うこと。規定に抵触している場合は、是正を求めるので従うこと。

6 競技用シューズについて

競技場は全天候舗装である。競技者が使用するシューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)については TR5 を適用する(小学生種目には適用しない)。

7 競技について

(1) トラック競技

① 不正スタートについて

一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。

② レーン競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。

③ 決勝進出人数についてはプログラム記載の通りとする。

④ 小学生 80mH 種目においては、同じ競技者が2回不正スタートをした場合に失格とする。 また、スタートの合図は「英語」とする。

(2) フィールド競技

① 競技用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき用具については検査の上、私物の使用を許可する(WA 規格)。検査後は一括借り上げとし、参加競技者間で共有できるものとする。棒高跳用ポールの検査は競技場所で、投てき用具の検査は、当日 7:30~12:00 まで競技場正面エントランスで行う(時間厳守)。検査を受けない器具(不合格も含む)は競技場内に持ち込んではならない。

② フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。

③ 三段跳びの踏切板の位置については、男子は 12m とし、女子は 11m とする。(マスターズは異なる) ただし、審判長の判断により変更の場合がある。

④ 競技中における助力は「日本陸上競技連盟競技規則 TR6」に従い規制される。これに抵触の場合は、審判長から注意・勧告をするが、是正されない場合はその種目から除外される場合がある。

⑤ 走高跳、棒高跳決勝のバーの上げ方は、審判長の判断により決定する。

⑥ 棒高跳に出場する競技者は、支柱移動の申告を現地の競技役員に行う。

(3) コンバインド A

① 80mハードルはハードルの高さ 70cm、ハードル間 7m、ハードルの台数 9 台、スタートから第 1 ハードルまで 13m、最終ハードルからゴールまで 11m とする。

② 走高跳は「はさみ跳び」でマットへの着地は足裏からとする。背・腰からの着地は無効試技とする。同じ高さを 2 回失敗した時点で終了とする。なお、男子は 100cm、女子は 90cm の高さから始め、以後 5cm 上げとする。

③ 最初の種目で棄権した競技者は、2 種目目には出場できない。

(4) ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内へ持ち入ることはできない。

8 競技の抽選及び番組編成について(レーン順・試技順)

(1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選で決定し、プログラム記載の競技者番号の左に数字で示す。

(2) トラック競技で予選を行う種目は次のラウンドの組合せ・走路順についてはアスリートランキングに掲載する。

(3) トラック競技における次ラウンド進出者のプラスの決定について、最終枠に同記録がありレーン数が不足する時の処置は、0.001 秒で着差判定して進出者を決める。着差がない場合は抽選とする。

- (4) 抽選が必要な場合は、該当競技者へアナウンスにより連絡し、大会本部前において該当競技者あるいは代理人による抽選を行う。なお、アナウンス後 20 分を経過しても該当競技者あるいは代理人が大会本部に来なかったときは、主催者が代行する。

9 表彰について

- (1) 各種目 1～3 位には賞状を授与する。
(新潟県内外選手問わず全てを対象とするが、小学生はオープン種目の為、表彰は無し。)
- (2) 表彰式は実施しない。(各種目 1～3 位は大会本部にて受け取る)
- (3) 第 109 回日本陸上競技選手権大会の申込資格記録突破者には記念品を授与する。
(今大会で上記申込資格記録を上回った全選手が対象となる)
アナウンスにより該当競技者へ連絡をし、該当者は大会本部に集合すること。
※受取りのない賞状、副賞は送付しない。

11 一般連絡・注意事項

- (1) 正面スタンドには、応援旗・部旗・横幕・のぼり等を取り付けないこと。その他の場所においても個人名の表示されたものは一切掲げてはならない。
- (2) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡すること。
- (3) 競技場での疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、その後に処置については、本大会で加入している傷害保険の範囲内とする。
- (4) 大会期間中の貴重品の保管は、各自が責任を持って行うこと。
- (5) スパイクシューズを履いたまま競技場施設(スタンド等)には入らないこと。
- (6) 遺失物については、本部で保管する。
- (7) プログラムおよび競技結果は、アスリートランキング上に掲載する。
- (8) 記録証明書を希望する競技者は、受付にある「記録証発行申請書」に必要事項を記入し、500 円(郵送費込)を添えて申し込むこと。
- (9) プログラム訂正の申し出は、選手受付場所にある訂正用紙に記入し総務に提出すること。
- (10) 開場時刻・競技者受付開始時刻については下記の通りとする。
【5/30(土)】競技者受付 14:30～(正面玄関)
【6/1(日)】スタンド開場 7:00/競技者受付 7:30～(正面玄関)

12 迷惑撮影防止について

各大会における盗撮の報告および日本陸連による盗撮防止啓発により安心安全な大会運営を行う為、主催者規定に基づき、対象の撮影機器を用いた撮影については許可制とする。下記撮影機器使用対象者は、競技場正面『撮影許可証発行所』にて身分証明証を提示のうえ手続きを行うこと(有料)。なお、撮影場所は正面スタンドのみとし、サイド・バックスタンドでの撮影は禁止とする。

【撮影許可証発行対象撮影機器】

一眼レフカメラ/ミラーレスカメラ/家庭用ビデオカメラ/カメラ機能付き双眼鏡(単眼鏡)
ズーム機能使用および望遠レンズ着用のスマートフォン・タブレット端末

13 医療機関

長岡赤十字病院 〒940-2108 新潟県長岡市千秋 2-297-1 TEL:0258-28-3600